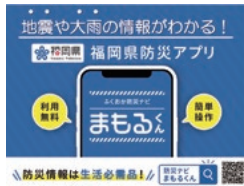


防災力の強化

✓ 福岡西方沖地震から
20年、地震対策を強化 ▶▶▶ 6,058万円

- ・3つの活断層の被害想定調査を実施
- ・「ふくおか防災ナビ・まもるくん」に地震メニューを追加



✓ デジタル技術を活用して
災害対応力を強化 ▶▶▶ 5,714万円

AI技術や衛星データなどのデジタル技術を防災対策に活用

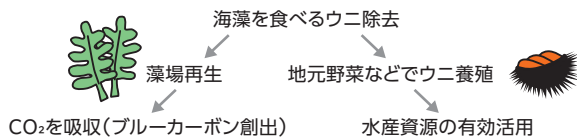
- ・登録地域の断層別「想定震度」や「液状化想定」を地図でお知らせ
- ・「災害時徒歩帰宅者支援ステーション」を地図でお知らせ

ワンヘルスの推進

環境の健全性の確保

✓ 藻場の再生による
ブルーカーボン※の創出 ▶▶▶ 1,471万円

※海藻などの海洋生物が吸収する二酸化炭素



✓ 太陽光発電設備などの共同
購入とJ-クレジット制度を活用し、脱炭素化を促進 ▶▶▶ 1,891万円

共同購入により価格を低減し、家庭における太陽光発電設備の導入を促進。県の取り組みに参加する各家庭のCO₂削減量を企業などに販売し、収益を地球温暖化対策に活用

新興感染症対策

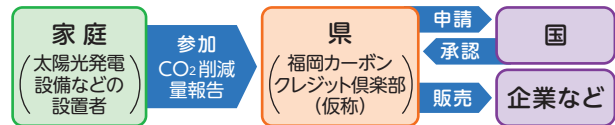
✓ ワンヘルスセンター研究力の
強化 ▶▶▶ 660万円

保健環境研究所において、病原体情報やレセプトデータなどを一元化するとともに、データ解析のためのワークステーションを整備



ワンヘルスとは、人・動物の健康と環境の健全性を一つと捉え、一体的に守っていくという考え方

■ J-クレジット制度の仕組み



未来を拓くイノベーションの創発

明日の福岡の“産業のコメ”への重点投資

半 導 体

✓ 半導体「最先端実装」
開発拠点を構築 ▶▶▶ 2億 4,827万円

「三次元半導体研究センター」に最先端機器を導入し、県内企業の製品開発を支援



水 素

✓ 北九州市響灘臨海エリアを中心
とした水素大規模拠点を構築 ▶▶▶ 3,500万円

実現可能性調査を行う水素供給事業者や全国初のFC船運航事業に取り組む事業者を支援



響灘臨海エリア▶

E V ・ 電 池

✓ EVバッテリーリユース・リサイクルの福岡モデルを構築 ▶▶▶ 1,451万円

官民挙げた研究会を設置し、ビジネスモデルやロードマップを策定

全国初

先 端 技 術 の 実 装

✓ 福岡バイオエコシステムの
形成を推進 ▶▶▶ 6,839万円

米国での医薬品承認支援や海外展示会への出展支援、ボストンでのピッチイベントの開催など、県内バイオベンチャーの海外展開を支援